

# まちのエンガワ 通信 No.25

中野まちのエンガワ・プロジェクト、なかの育フェスへのお問合せ●Eメール/nakanoikufes@gmail.com●Tel090-4712-9319(中村)

## TP地域のイベントに参加!

平成27年 第40回 江古田地区まつり  
**もったいないランド**  
 みごちるモノ、すてきゆうモノ、もったいないモノを使って作ったり遊んだりしよう!  
 入場無料!雨でもやります  
 2015年 **10月24日(土)** 時間: 午後1:30~4:00  
 場所: 江古田区民活動センター

**作る**  
 おり紙で「オモロロかんむり」  
 ペットボトルで「ジュ」  
 カップで「こま」(ペット) 紙ヨーヨー・木工作

**遊ぶ**  
 【エコリンピック大会】  
 吹飛ばし「お花はばら」(うさぎのよ) 紙飛行機  
 紙飛行機  
 こまリンピック大会  
 こまリンピック大会  
 アフリのあそび(ジャンベで遊ぶ)

**ようじコーナー**  
 さかみつり・ボール投げ  
 江古田トンネル

**たいけん&食べる**  
 しゃべり・お茶(100円) ため

**おねがい!**  
 自転車に乗ってこまをいれて作ったものを人にするふくろをもってよう!

**十円古本市**  
 お店にある読み終わった本を持ってきてね!  
 100円・100円・100円  
 以上全部の書籍が対象になります。500円以上(当日現金のみ)



**なかの育フェスとは?**

- 6年をかけて、子ども・子育ての楽しい街をめざしているイベント。今年で6月に三回目が終了。参加者・来場者1600人を超えた。
- 子育て支援、アート、パフォーマンス、遊びのテーマ別の会場で、親子や世代を超えて楽しめるワークショップや講座など満載。
- イベント開催時のみならず、年間を通じて、勉強会、研究会、各地域での実践が行われている。団体の枠を超え、様々な世代が関って活動が広がっている。

Oh!?

## 江古田の子ども達を育フェスチームが応援

●昨年に引き続き、育フェスつながりプロジェクト(ITP)を中心に、江古田地区まつり「こどもまつり部門」に参加しました。育ラジオ・アフリカの太鼓ジャンベパレードなどさまざま方も



おっと!

関わりました。●テーマの「もったいないランド」に合わせて、リサイクルなものを使って「エコリンピック」を企画。当初予定していた紙パックの弾力性を生かした手作りおもちゃの「ピョンピョングランプリ」は、予想以上に、こども達の指先が

スケジュール



**11月11日(水) 19:00~ 上高田区活セ**  
**「ママフィット体操体験」** 講師: 野口栄子氏  
 なかの育フェス虐待防止対策委員会企画。今回はあえて対象者ではない人が、どのようなものなのか?をテーマに体験してみます。動きやすい服装でご参加ください。参加費 100円(年齢・性別は問いません)申し込み不要

**11月28日(土) 10:00~ @エカイエ**  
**2016なかの育フェス**  
**第二回運営委員会**

★「なかの育フェス」で、アナタのアイデアを生かして、より楽しいフェスに成長させませんか? 決めるのはアナタ! 終了後 12 時からは「まことカフェ」も開店しますので、お食事屋やスイーツも楽しめます。  
 お問合せ●Eメール/nakanoikufes@gmail.com

ひと・いきかフェス

**エカイエ**

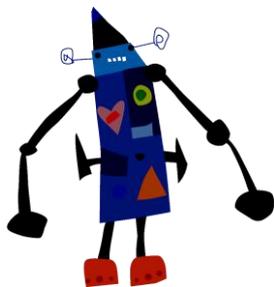
複数のオーナーとカフェ店主でつくる「カフェ部門」とまちづくりの「コミュニティ部門」がドッキングした、多目的なカフェ  
 ●中野区上高田1-34-1  
 電話03-3360-3330

効かないことが判明！？  
急きょ「あき箱ツミツミ競争」に変更というハプニングに見舞われましたが、単

純な競争でも遊び方次第で燃えてくれることも達の姿がとても印象的で、結果たのしいものになりました。

## 次年度の開催決定！ どんな育フェスに？

●毎年 6 月に開催される「なかの育フェス」。第四回の開催に向けて、10月28日に新運営委員が集まりました。●次回に向けて各自のやりたいこと等を出し合いました。●「こども・子



育てに関わる当事者だけでなく、高齢者や障害を持つ人たちも関われる祭りにしたい」「こどもが企画するお店があったらイイナ」等あらたな提案や企画がたくさん出てきそうです。

### 報告

なかの生涯学習大学第二学年世代間交流ゼミ  
「学校・地域支援の実際に学ぶ」  
10月15日(木)午前 於なかのZERO西館

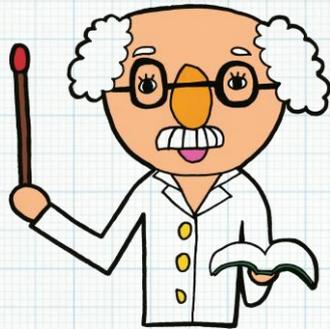
## なかの育フェスの取り組み

(報告者：鈴木・小玉・中村)

「子どもと高齢者の交流と相乗効果」といった内容で、2 団体がゲストスピーチとして招かれました。もう一方の団体は、区内の児童館で活動されている、生涯学習大学の卒業生の方々によるもので、子ども達と一緒にいる、野菜・花壇づくりを長年の実践を続けられているそうです。

報告して改めて気付きましたが、目的は「世代間の交流」であっても、メンバー構成、組織作り、運営の仕方など、方法が大きく異なっていました。それはもう面白いほど「両極端」でした。

カフェ？  
ってなんで  
すか??



「まち」の誰もが参加できる、フェスなのじゃ

## なかの育フェス 攻略法は？

「なかの育フェス」を検索して、HPやFBをのぞいてみてね！

### 「イベントに参加！してみる」

なかの育フェスは、普通のイベントとちょっと違う。期間以外でも、1年中関連した活動があり、講座やWS、勉強会など、育フェスに関わる人達がさまざまに企画しています。

### 「まず カフェに行ってみる！」

中野駅周辺にある、カフェ「ウナ・カメラ・リーベラ」(産業振興センターの前)や「エカイエ」(早稲田通り沿い、中野と東中野の間)に行き、お店の人に訪ねてみよう。育フェスに関わっている人と話ができるかも。これがまず一番。

※「なかの育フェス」では、非公開のFBがあって、育フェスに参加した人やまちのオモシロイ事に興味のある人大歓迎。情報交換をしています。講座やWSに参加したりすると、グループに入る事が出来ます。